



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月10日

東

上場会社名 株式会社大運 上場取引所
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野 弘一 (TEL) 06-6532-4101
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,038	4.2	9	△88.2	47	△49.5	61	△45.0
26年3月期第3四半期	4,836	0.3	82	2.8	93	27.9	111	62.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	0.98	—
26年3月期第3四半期	1.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,075	2,134	35.1
26年3月期	5,714	2,009	35.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,134百万円 26年3月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	1.0	5	△95.7	30	△76.7	20	△88.5	0.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	62,280,394株	26年3月期	62,280,394株
27年3月期3Q	105,813株	26年3月期	101,829株
27年3月期3Q	62,176,547株	26年3月期3Q	62,181,860株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務情報に関する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、大手を中心とした企業業績の回復等により景気回復の兆しは見えるものの、個人消費の伸び悩みや急速に変動する為替相場への警戒感から、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

当業界におきましては、規制緩和と荷主メーカーの大幅な物流コスト見直しにより低価格化競争が続き、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社におきましては、新規取引をはじめ受注の拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期会計期間(平成26年10月1日～平成26年12月31日)における当社の業績は、急速に回復してまいりました。主な要因として、比較的取引採算の良好な業者を中心に受注が増加したこと等があります。

しかしながら、第2四半期会計期間(平成26年7月1日～平成26年9月30日)における利益の落ち込みが大きかったため、当第3四半期累計期間の業績は、好調であった前年同四半期累計期間と比較すると、利益面で大幅に減少しております。受取家賃の増加等により、営業外損益は増加しております。また、特別利益25百万円のうち22百万円は、投資有価証券売却益であります。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は、5,038,933千円で、前年同四半期累計期間と比べ、202,572千円(4.2%)の増収となりました。しかしながら、営業利益は9,696千円で、前年同四半期累計期間と比べ、72,730千円(88.2%)の減益、経常利益は47,033千円で、前年同四半期累計期間と比べ、46,031千円(49.5%)の減益となりました。また、四半期純利益は61,419千円となり、前年同四半期累計期間と比べ、50,239千円(45.0%)の減益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安継続の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものであります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、4,851,940千円で、前年同四半期累計期間と比べ、213,043千円(4.6%)の増収となり、全セグメントの96.3%を占めております。

しかしながら、経費増加等の影響で、セグメント利益(営業利益)は、304,004千円で、前年同四半期累計期間と比べ、58,346千円(16.1%)の減益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、引き続き厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、180,325千円で、前年同四半期累計期間と比べ、10,125千円(5.3%)の減収となり、全セグメントの3.6%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、45,897千円で、前年同四半期累計期間と比べ、10,912千円(前年同四半期累計期間は△34,984千円)の減益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入が伸び悩みました。

この結果、営業収入は、6,667千円で、前年同四半期累計期間と比べ、345千円(4.9%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、6,564千円で、前年同四半期累計期間と比べ、312千円(4.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より310,334千円増加して3,700,424千円となりました。これは立替金の増加150,219千円、現金及び預金の増加114,204千円、営業未収入金の増加39,096千円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より48,936千円増加して2,359,452千円となりました。これは投資有価証券の増加89,573千円、のれんの減少20,948千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第3四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より1,354千円増加して15,392千円となりました。これは社債発行に伴う社債発行費の増加1,354千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より30,667千円増加して2,166,486千円となりました。これは営業未払金の増加55,832千円、1年内償還予定の社債の増加47,600千円、1年内返済予定の長期借入金の減少28,580千円、賞与引当金の減少28,120千円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より204,763千円増加して1,773,860千円となりました。これは長期借入金の増加110,960千円、社債の増加60,850千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より125,183千円増加して2,134,921千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加61,419千円、その他有価証券評価差額金の増加63,953千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成26年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

当第3四半期累計期間は、営業利益9百万円、経常利益47百万円、四半期純利益61百万円を計上しており、すでに通期業績予想の営業利益5百万円、経常利益30百万円、当期純利益20百万円を上回る数字になっておりますが、通期業績予想は、日本の正月、中国の旧正月の影響による1～2月の業績落ち込みを織り込んでおります。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,169,021	2,283,225
受取手形	5,155	2,487
営業未収入金	785,641	824,738
立替金	399,580	549,799
その他	36,912	50,037
貸倒引当金	△6,220	△9,865
流動資産合計	3,390,089	3,700,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	185,919	174,974
構築物(純額)	3,815	3,513
機械及び装置(純額)	14,325	14,883
車両運搬具(純額)	42,627	39,933
工具、器具及び備品(純額)	10,806	10,666
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	31,353	24,036
有形固定資産合計	865,031	844,192
無形固定資産		
のれん	363,103	342,155
その他	98,394	80,595
無形固定資産合計	461,498	422,750
投資その他の資産		
投資有価証券	728,911	818,485
差入保証金	94,934	96,491
その他	409,203	427,380
貸倒引当金	△249,062	△249,847
投資その他の資産合計	983,986	1,092,509
固定資産合計	2,310,516	2,359,452
繰延資産		
社債発行費	14,037	15,392
繰延資産合計	14,037	15,392
資産合計	5,714,644	6,075,268

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	39,886	42,271
営業未払金	521,269	577,102
短期借入金	705,800	698,000
1年内償還予定の社債	147,600	195,200
1年内返済予定の長期借入金	541,168	512,588
未払金	52,215	36,678
未払法人税等	27,279	2,935
賞与引当金	36,733	8,613
その他	63,856	93,096
流動負債合計	2,135,809	2,166,486
固定負債		
社債	488,600	549,450
長期借入金	802,752	913,712
退職給付引当金	195,385	246,146
その他	82,359	64,552
固定負債合計	1,569,096	1,773,860
負債合計	3,704,905	3,940,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,446	433,446
資本剰余金合計	747,751	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△978,272	△916,852
利益剰余金合計	△972,416	△910,996
自己株式	△10,575	△10,765
株主資本合計	2,159,158	2,220,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△149,419	△85,466
評価・換算差額等合計	△149,419	△85,466
純資産合計	2,009,738	2,134,921
負債純資産合計	5,714,644	6,075,268

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収入	4,836,361	5,038,933
営業原価	4,502,020	4,753,238
営業総利益	334,341	285,695
販売費及び一般管理費	251,915	275,999
営業利益	82,426	9,696
営業外収益		
受取利息	138	104
受取配当金	13,273	16,441
受取家賃	13,250	22,113
受取手数料	7,426	17,736
雑収入	15,031	26,967
営業外収益合計	49,119	83,363
営業外費用		
支払利息	36,264	35,639
社債発行費償却	1,806	2,663
貸倒引当金繰入額	—	1,236
雑損失	409	6,486
営業外費用合計	38,480	46,026
経常利益	93,065	47,033
特別利益		
固定資産売却益	2,652	3,059
投資有価証券売却益	38,081	22,316
特別利益合計	40,733	25,376
特別損失		
固定資産除却損	42	75
投資有価証券評価損	2,499	—
特別損失合計	2,542	75
税引前四半期純利益	131,256	72,334
法人税、住民税及び事業税	19,597	10,915
法人税等合計	19,597	10,915
四半期純利益	111,658	61,419

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。